

PPシステムの課題

コンサルタント等アンケートより



2006/07/01

プローブ研究会 事例部会

旧システム と 新システム

	旧システム(レンタル)	新システム
プラットフォーム	JAVA	BREW
位置特定方法	サーバ・アシスト	自律(+サーバアシスト)
測位間隔	最短20～30秒程度	最短2～3秒程度
連続計測時間	3時間程度	最大12時間程度

(その他の改良・技術ストック)

- ・ケータイ / Webダイアリー
- ・分析システム

測位間隔に関する課題・要望

- ▲ もう少し短くなればよい(旧システム)
- ▲ 測位間隔の調整の自由度(バッテリーとの関係)があればよい

2～3秒間隔の測位が可能となり、新システムでは、ほぼ課題は解消

バッテリーに関する課題・要望

㊦ バッテリー継続時間(新)

- 1日程度充電なしで測位できればよい
- 移動 / 滞在を自動判別して移動時のみ測位できないか？

最大12時間程度(利用状況による)可能となり大幅に改善

これまでの実務上の工夫

- ・自動車であればシガーソケットを配布
- ・予備バッテリー配布

地下鉄・屋内 / 電話不通地域

- △ 地下鉄・地下街・屋内では誤差が大きい
 - 特に都市部で問題
- △ 電話不通地域ではデータ取得不能
 - 山間部等
- △ GPS測位精度
 - 公園内など比較的小さい地域内のデータ取得と分析手法

モニター に関する課題・要望

- △ **モニター数(サンプル調査の信頼性、代表性)が特に大きな課題**
- △ **高齢者**
 - これまでの実績から、皆が無理という訳ではない
- △ **モニターの負担**
 - ショートトリップが多い職種
 - 全目的地を入力
 - モニター自身のものと、調査用のケータイを2台持つ
 - 長期間調査は可能か？(モニターが飽きるのでは)

長期間可能？ 2,3ヶ月の調査実績はある

調査名	調査期間	モニター数	実施主体	調査の主な目的
松山2003	03/01/29 ~ 02/28 31日間	100人	四国地整・松山河川国道	情報提供効果把握
三次2003	03/11/01 ~ 01/10 70日間	20人	中国地整・松江国道	LOS計測
	04/01/10 ~ 02/06 27日間			
松山2004	04/01/26 ~ 02/29 35日間	317人	四国地整・松山河川国道	情報提供効果把握
高知2004	04/10/03 ~ 11/30 58日間	192人	四国地整・土佐国道	社会実験効果把握
徳島2004	04/10/03 ~ 11/30 58日間	151人	四国地整・徳島河川国道	社会実験効果把握
松山2004_2	04/12/06 ~ 12/10 5日間	31人	国土技術政策総合研究所	交通調査手法高度化
徳島2004_2	05/01/11 ~ 02/28 48日間	61人	四国地整・徳島河川国道	高速道路平均1割引効果把握
松江2004	05/01/24 ~ 02/24 31日間	15人	中国地整・松江国道	LOS計測
松山2005	05/02/01 ~ 02/28 28日間	384人	四国地整・松山河川国道	情報提供効果把握, エコポイント
阪神高速2004	05/02/07 ~ 02/20 13日間	74人	阪神高速道路公団	経路選択モデル構築
四国観光2004	05/02/ ~ 05/05	20組	日本道路公団四国支社	観光行動
大洲2005	05/06/24 ~ 07/08 14日間	10人	四国地整・大洲河川国道	LOS計測
新居浜2005	05/07/09 ~ 07/30 22日間	37人	四国地整・松山河川国道	防災リスク評価
筑波2005	05/07/04 ~ 07/24 20日間	74人	国土技術政策総合研究所	鉄道新線供用インパクト把握
	05/08/24 ~ 09/30 37日間			
阪神臨海2005	05/11/18 ~ 12/16 29日間	50人	近畿地整・阪神国道	貨物交通の現状把握
阪神高速2005	06/01/16 ~ 02/17 33日間	91人	阪神高速道路(株)	経路選択モデル構築, 料金感度分析
西名阪2005	06/01/23 ~ 02/28 37日間	93人	近畿地整・奈良国道	社会実験効果把握
奈良北2005	06/03/10 ~ 03/31 22日間	196人	近畿地整・奈良国道	自専道供用インパクト把握

長期間可能？ モニターも, 2, 3ヶ月なら十分協力可能

最大協力可能期間

既存調査のモニターアンケートでは、

- ・1/3程度の人が1年以上継続できると回答
- ・ほぼ全員が1ヶ月程度なら可能と回答

電話操作をしなかった回数 (約1ヶ月間の調査期間内)

既存調査のモニターアンケートでは、

- ・0回とした人が約70%
- ・1～5回とした人が約25%

モニター に関する課題・要望

プライバシーの問題は？

- 今のところ大きな問題はみられない

既存調査では、
個人情報保護方針を策定

- ・説明会で説明
- ・同意した人のみ協力

これまで、プライバシーを理由に辞退した人はいない

プライバシーについて

既存調査のモニターアンケートでは、

- ・気にならない / 時々気になったがほぼ半数程度
- ・ただし、同様の調査に『以後参加したく無い』とする人は数%程度に止まる

工期・技術、コストに関する課題・要望

- ㊦ 工期(データ取得 分析に時間がかかる)
- ㊦ 時系列データの分析手法の確立
- ㊦ 簡易分析システム(工期短縮)
- ㊦ マップマッチング技術

- ㊦ コストがかかる

その他、

- ㊦ ケータイのインターフェイス改良(できるだけ誤操作を少なく、ケータイ操作を少なく)
- ㊦ Webダイアリのインターフェイス改良(分かりやすく、入力補助)
- ㊦ 写真との連携機能(観光など)
- ㊦ 交通手段の自動認識

- ㊦ 業務交通への適用手法(Webダイアリが難しい)
- ㊦ 回遊トリップの定義と周知(OとDが同じトリップ)

検討利用目的(営業ネタ)

- d 料金割引社会実験
- d 有料道路料金感度
- d モビリティマネジメント
- d 周遊観光
- d 歩行者回遊
- d 物流
- d マーケティング
- d 防災・避難
- d 冬期交通実態調査
- d 道路巡回パトロール
- d 施策インパクト評価 など
- d PP調査だけでは難しい(調査全体フレームが重要)^e